

平成十九年十二月二十九日、私たち天草剣士の先輩の桑原重義先生がご逝去されました。教士七段。享年八十八。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

今回、桑原先生の愛弟子の泉眞喜夫先生に追悼文をご寄稿いただきましたので、掲載いたします。

桑原重義先生を偲んで

天草市五和町 泉 眞喜夫

桑原先生がご逝去されたことを知り、大変悲しい気持ちで一杯です。現在、球磨郡五木村の小学校に勤務している関係で、計報を知ったのは2月になってからでした。先生のお通夜や葬儀に参列できなかったことが残念です。桑原先生ごめんなさい。念です。桑原先生のことについて載せたいので寄稿して欲しいという依頼がありました。拙筆ではございますが、葬儀に参列しな

とができた。

支部 上天草支部
紹介 田嶋伯朗

上天草市が誕生した平成十六年三月三十一日、同時に上天草市剣道協会が発足した。大矢野町、松島町、姫戸町(龍ヶ岳町)には剣道協会なし)の剣道愛好家により山下隆明会長以下二十名ほどのメンバーで構成されている。

上天草市剣道協会は、松島町の故吉野史郎氏と旧三角町の西山弘先生との交流を元に、毎週金曜日に西山先生の指導を仰ぎながら協会メンバーの他、地元中学生や市外からの剣道愛好家とともに汗を流している。この練習の成果が徐々に現れてきて、平成十九年度の県民体育祭では初めての「一勝」を手にするこ

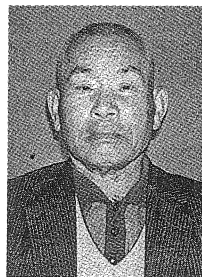
かった罪滅ぼしという意味でも寄稿させていただきます。

私が五和東中学校で剣道を始めた頃です。もう四十年以上も前になります。そのころの五和東中学校には剣道の指導者がおられませんでした。金子攻さんや松野俊孝さん等、当時高校生だった先輩方が、土曜日の午後に時々指導に来ていただくだけで

した。五和西中学校の校区にお住まいの桑原先生が、どのような経緯で五和東中学校の剣道部まで指導していただけるように

生(熊本市剣道連盟会長)を講師に、また各団体の指導者の協力を得て少年剣道教室を開き、直後にある昇段審査対策、地元剣道のレベルアップに御協力いただいている。平成十八、十九年度の剣道教室では熊本県の団体メンバーの協力を受け、盛大に開催したところである。準備等においては剣道協会を中心に

少年剣道の保護者との協力体制が非常にうまくまとまっており、他競技の協会の見本となつて活動している。今後の目標は協会のメンバーを増やし、県大会で一つでも多く勝利を重ねられるよう努力し、天草の剣道の発展に貢献することである。



在りし日の桑原先生

なつたのかは存じませんでしたが、同じ町内の中学生に大好きな剣道を教えてあげたいという先生のありがたいお気持ちからはなかつたかと思つています。

当時の先生の指導は、とにかく面と小手面を中心に攻める剣道でした。そして率先垂範。常に実際に打つて見せ、打たせてみて体で覚え込ませる指導でした。稽古では大変厳しく、体の小さかった私は、先生にぶつかつていつかははじき飛ばされ、はじき飛ばされてはまた向かつていくといったことの連続でした。先生は厳しいばかりではありませんでした。稽古から離れると、大変優しく気さくな方で、いろいろな話しをしてくださいました。高校時代に忘れられない思い出があります。それは、私が高校三年生の時、桑原先生から、五和町二江の宮地岳神社の祭りに天草高校剣道部員を連れてきて、奉納試合をしてくださいなという依頼がありました。先生からの依頼を断る訳にはいかず、全部員を引き連れて山の頂上にある神社の境内で野試合をした思い出があります。先生にも大変喜んでいただきました。

九州地区剣道道場指導者講習会に参加して

木下文男

去る一月二十六日(土)、二十七日(日)の両日、大分県の光明館道場(大分県剣道連盟会長、範士八段青木彦人館長)で実施されました。目的は、各道場主ならびにその指導者に対する少年指導法等の充実を図り、少年指導の普及発展に資するということである。

竹刀は日本刀であるとの観念を基として、木刀を使用して刀法の原理・理合や作法の規範を理解させようというものである。基本一から基本九まであり、日本剣道形と似ているが緩急強弱とか呼吸法などのあまり難しいことはなく、初心者への指導、悪癖の矯正などに良いのではないかと思います。



この稽古法は三回目の受講であったのだが、今回で何とか自信をつかんだ感じだった。今後この稽古法の普及と正しい剣道を目指していくべきであると実感しました。

ただ残念だったのは、決勝戦で一年後輩の本多君に負けてしまったこと、先生の前で優勝できなかったことです。

先生は、三地区対抗親善剣道大会でも、天草軍のポイントゲッターとして活躍されました。先生の攻めに徹した剣風、小手面の切れ味など、今でも脳裏に焼き付いています。先生のご冥福をお祈りいたします。